

# 紹介受診重点医療機関の選定について

和歌山県湯浅保健所

令和6年9月5日

# 外来機能報告

医療法第30条の18の2及び第30条の18の3の規定に基づき、**地域における外来医療に係る病院及び診療所の機能の分化及び連携の推進のため**、医療機関の管理者が**外来医療の実施状況等を都道府県知事に報告をするもの**。令和3年5月に「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」(令和3年法律第49号)が成立・公布され、医療法に新たに規定された(令和4年4月1日施行)。

参考：医療法(一部抜粋)

第30条の18の2 **病床機能報告対象病院等であつて外来医療を提供するもの**(以下この条において「外来機能報告対象病院等」という。)の**管理者は、地域における外来医療に係る病院及び診療所の機能の分化及び連携の推進のため**、厚生労働省令で定めるところにより、次に掲げる事項を当該外来機能報告対象病院等の所在地の**都道府県知事に報告しなければならない**。

第30条の18の3 **患者を入院させるための施設を有しない診療所**(以下この条において「無床診療所」という。)の**管理者は、地域における外来医療に係る病院及び診療所の機能の分化及び連携の推進のため**、厚生労働省令で定めるところにより、次に掲げる事項を当該無床診療所の所在地の**都道府県知事に報告することができる**。

## 目的

- 「紹介受診重点医療機関(医療資源を重点的に活用する外来を地域で基幹的に担う医療機関)」の明確化
- 地域の外来機能の明確化・連携の推進

患者の流れがより円滑になることで、病院の外来患者の待ち時間の短縮や勤務医の外来負担の軽減、医師の働き方改革に寄与。

## 報告項目

(1) **医療資源を重点的に活用する外来の実施状況**

(2) 紹介受診重点医療機関となる意向の有無

(3) **地域の外来機能の明確化・連携の推進のために必要なその他の事項**  
紹介・逆紹介の状況、外来における人材の配置状況、外来・在宅医療・地域連携の実施状況(生活習慣病管理料や在宅時医学総合管理料等の算定件数)等

「地域の協議の場」での議論に活用。令和4年度については、外来機能報告等の施行初年度であるため、紹介受診重点医療機関の明確化に資する協議を中心に行う。

## 対象医療機関

義務： 病院・有床診療所  
任意： 無床診療所

## 報告頻度

年1回  
(10～11月に報告を実施)

## 医療資源を重点的に活用する外来(重点外来)

- 医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来  
例) 悪性腫瘍手術の前後の外来
- 高額等の医療機器・設備を必要とする外来  
例) 外来化学療法、外来放射線治療
- 特定の領域に特化した機能を有する外来  
例) 紹介患者に対する外来

## 紹介受診重点医療機関の基準

意向はあるが基準を満たさない場合

- 上記の外来の件数の占める割合が
- ・ 初診の外来件数の40%以上かつ
  - ・ 再診の外来件数の25%以上

## 参考にする紹介率・逆紹介率の水準

- ・ 紹介率50%以上かつ
- ・ 逆紹介率40%以上

紹介受診重点医療機関として取りまとめ



# 紹介受診重点医療機関について

○ 外来機能の明確化・連携を強化し、患者の流れの円滑化を図るため、医療資源を重点的に活用する外来の機能に着目して、以下のとおり紹介患者への外来を基本とする医療機関（紹介受診重点医療機関）を明確化する。

- ① 外来機能報告制度を創設し、医療機関が都道府県に対して外来医療の実施状況や紹介受診重点医療機関となる意向の有無等を報告し、
- ② 「地域の協議の場」において、報告を踏まえ、協議を行い、協議が整った医療機関を都道府県が公表する。

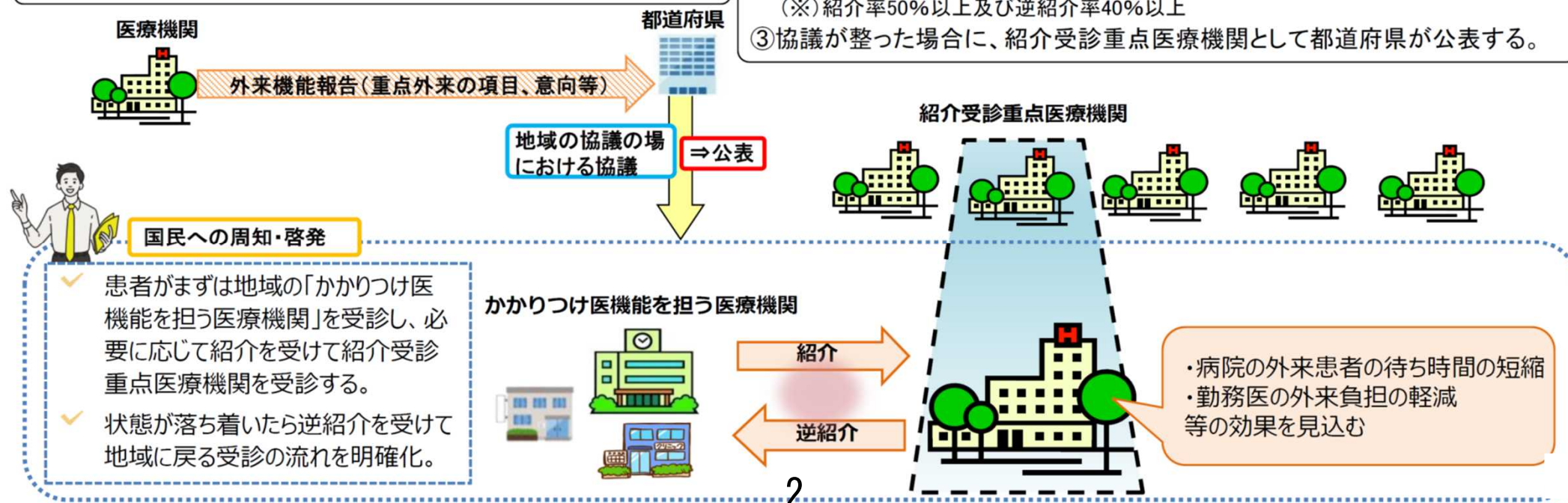
※ 紹介受診重点医療機関（一般病床200床以上の病院に限る。）は、紹介状がない患者等の外来受診時の定額負担の対象となる。

## 【外来機能報告】

- 「医療資源を重点的に活用する外来（重点外来）」等の実施状況
  - ・ 医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来
  - ・ 高額等の医療機器・設備を必要とする外来
  - ・ 特定の領域に特化した機能を有する外来
- 紹介・逆紹介の状況
- 紹介受診重点医療機関となる意向の有無
- その他、地域の協議の場における外来機能の明確化・連携の推進のための必要な事項

## 【地域の協議の場】

- ① 医療資源を重点的に活用する外来に関する基準（※）を満たした医療機関については、紹介受診重点医療機関の役割を担う意向を確認し、紹介率・逆紹介率等も参考にしつつ協議を行う。  
（※）初診に占める重点外来の割合40%以上 かつ  
再診に占める重点外来の割合25%以上
- ② 医療資源を重点的に活用する外来に関する基準を満たさない医療機関であっても、紹介受診重点医療機関の役割を担う意向を有する医療機関については、紹介率・逆紹介率等（※）を活用して協議を行う。  
（※）紹介率50%以上及び逆紹介率40%以上
- ③ 協議が整った場合に、紹介受診重点医療機関として都道府県が公表する。



# 医療資源を重点的に活用する外来の実施状況（概況）

（令和5年度外来機能報告）

医療機関名	紹介受診重点医療機関となる意向（○は有）	外来患者延べ数（令和5年4月～令和6年3月）						【参考】紹介・逆紹介の状況（令和5年4月～令和6年3月）				
		初診	医療資源を重点的に活用する外来	初診に占める割合	再診	医療資源を重点的に活用する外来	再診に占める割合	初診患者数	紹介患者数	紹介率	逆紹介患者数	逆紹介率
紹介受診重点医療機関の基準			基準項目	40.0%	← 且つ →		25.0%		参考項目	50.0%	← 且つ → 40.0%	
有田市立病院		9,982	2,041	20.4%	46,139	5,965	12.9%	9,210	1,529	16.6%	1,744	18.9%
済生会有田病院		5,339	2,106	39.4%	49,294	8,189	16.6%	3,653	987	27.0%	1,230	33.7%
西岡病院		2,679	1,113	41.5%	38,675	13,229	34.2%	2,365	226	9.6%	255	10.8%
桜ヶ丘病院		1,057	276	26.1%	19,766	11,169	56.5%	869	234	26.9%	0	0.0%
有田南病院		964	88	9.1%	10,543	3,411	32.4%	791	0	0.0%	0	0.0%
土屋クリニック		411	84	20.4%	11,685	3,842	32.9%	324	19	5.9%	27	8.3%
はしもとクリニック		1,013	379	37.4%	13,879	1,131	8.1%	0	0	0.0%	0	0.0%

# 医療資源を重点的に活用する外来の実施状況（詳細）

（令和5年度外来機能報告）

※「患者延べ数」：患者ごとの受診日数の合計

令和5年度外来機能報告（NDBデータ）

## ①初診

①初診																			
医療機関名	(1) 初診の外来 の患者延べ 数（日）	(2) 初診（情 報通信機 器を用いた 場合）の 外来の患 者延べ数	(3) 紹介受診 重点外来 の患者延べ 数（日）	(4) 医療資源 を重点的に 活用する患 者割合 （%）	紹介受診重点外来のうち、主な項目の算定件数（件数）														
					(5) 医療資源 を重点的に 活用する入 院前後の 外来(日)	(6) 高額等の 医療機器・ 設備を必 要とする外 来（日）	(7) 特定の領 域に特化し た機能を有 する外来 （日）	(15) 外来化 学療法 加算 （件）	(16) 外来腫 瘍化学 療法診 療料 （件）	(17) 外来放 射線治 療加算 （件）	(18) CT撮影 （件）	(19) MRI撮 影 （件）	(20) PET検 査 （件）	(21) SPECT 検査 （件）	(22) マンモグ ラフィ検 査 （件）	(23) 高気圧 酸素治 療 （件）	(24) 画像等 手術支 援加算 （件）	(25) 悪性腫 瘍手術 （件）	
有田市立病院	9,982	0	2,041	20.4	164	1,623	730	0	0	0	916	283	0	0	21	0	0	0	
済生会有田病院	5,339	0	2,106	39.4	233	1,581	867	0	0	0	985	282	0	0	1	0	0	0	
西岡病院	2,679	0	1,113	41.5	51	1,029	119	0	0	0	484	377	0	0	0	0	0	0	
桜ヶ丘病院	1,057	1	276	26.1	2	204	114	0	0	0	155	0	0	0	0	0	0	0	
有田南病院	964	0	88	9.1	5	53	39	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	
土屋クリニック	411	0	84	20.4	0	60	31	0	0	0	52	0	0	0	0	0	0	0	
はしもとクリニック	1,013	0	379	37.4	10	351	33	0	0	0	158	0	0	0	30	0	0	0	

## ②再診

②再診	(1) 初診の外来 の患者延べ 数（日）																	
医療機関名	(2) 初診（情 報通信機 器を用いた 場合）の 外来の患 者延べ数	(3) 紹介受診 重点外来 の患者延べ 数（日）	(4) 医療資源 を重点的に 活用する患 者割合 （%）	紹介受診重点外来のうち、主な項目の算定件数（件数）														
				(5) 医療資源 を重点的に 活用する入 院前後の 外来(日)	(6) 高額等の 医療機器・ 設備を必 要とする外 来（日）	(7) 特定の領 域に特化し た機能を有 する外来 （日）	(15) 外来化 学療法 加算 （件）	(16) 外来腫 瘍化学 療法診 療料 （件）	(17) 外来放 射線治 療加算 （件）	(18) CT撮影 （件）	(19) MRI撮 影 （件）	(20) PET検 査 （件）	(21) SPECT 検査 （件）	(22) マンモ グラフィ 検査 （件）	(23) 高気圧 酸素治 療 （件）	(24) 画像等 手術支 援加算 （件）	(25) 悪性腫 瘍手術 （件）	
有田市立病院	46,139	0	5,965	12.9	1,836	3,719	963	8	0	0	1,412	560	0	0	16	0	0	0
済生会有田病院	49,294	0	8,189	16.6	3,857	4,158	838	7	359	0	1,796	800	0	0	1	0	0	0
西岡病院	38,675	0	13,229	34.2	1,611	12,069	227	0	0	0	410	345	0	0	0	0	0	0
桜ヶ丘病院	19,766	6	11,169	56.5	249	10,989	229	0	0	0	866	0	0	0	0	0	0	0
有田南病院	10,543	0	3,411	32.4	270	3,244	88	0	0	0	102	0	0	0	0	0	0	0
土屋クリニック	11,685	0	3,842	32.9	37	3,698	175	0	0	0	155	0	0	0	0	0	0	0
はしもとクリニック	13,879	0	1,131	8.1	175	816	157	0	0	0	267	0	0	0	20	0	0	0



## 医療資源を重点的に活用する外来

○「医療資源を重点的に活用する外来」(重点外来)は、以下の類型①～③のいずれかの機能を有する外来とする。

### ① 医療資源を重点的に活用する入院の前後の外来

次のいずれかに該当した入院を「医療資源を重点的に活用する入院」とし、その前後30日間の外来の受診を、類型①に該当する「重点外来」を受診したものとする。(例:がんの手術のために入院する患者が術前の説明・検査や術後のフォローアップを外来で受けた等)

- Kコード(手術)を算定
- Jコード(処置)のうちDPC入院で出来高算定できるもの(※1)を算定  
※1: 6000cm<sup>2</sup>以上の熱傷処置、慢性維持透析、体幹ギプス固定等、1000点以上のもの
- Lコード(麻酔)を算定
- DPC算定病床の入院料区分
- 短期滞在手術等基本料2、3を算定

### ② 高額等の医療機器・設備を必要とする外来

次のいずれかに該当した外来の受診を、類型②に該当する「重点外来」を受診したものとする。

- 外来化学療法加算を算定
- 外来放射線治療加算を算定
- 短期滞在手術等基本料1を算定
- Dコード(検査)、Eコード(画像診断)、Jコード(処置)のうち地域包括診療料において包括範囲外とされているもの(※2)を算定  
※2: 脳誘発電位検査、CT撮影等、550点以上のもの
- Kコード(手術)を算定
- Nコード(病理)を算定

### ③ 特定の領域に特化した機能を有する外来(紹介患者に対する外来等)

次の外来の受診を、類型③に該当する「重点外来」を受診したものとする。

- 診療情報提供料Ⅰを算定した30日以内に別の医療機関を受診した場合、当該「別の医療機関」の外来

# 高額な医療機器を所有する病院・有床診療所

(令和5年度外来医療報告)

有田医療圏			病 院	有床診療所
CT	マルチ スライス CT	64列以上	有田市立病院、済生会有田病院	
		16列以上64列未満	桜ヶ丘病院、有田南病院、西岡病院	土屋クリニック、はしもとクリニック
		16列未満		
	その他CT			
MRI	3テスラ以上			
	1.5テスラ以上3テスラ未満		有田市立病院、済生会有田病院、西岡病院	
	1.5テスラ未満			
血管連続撮影装置				
SPECT				
マンモグラフィ			有田市立病院、済生会有田病院	はしもとクリニック
PET				
PETCT				
PETMRI				
ガンマナイフ				
サイバーナイフ				
強度変調放射線治療器（IMRT）				
遠隔操作式密封小線源治療装置（RALS）				
内視鏡手術用支援機器（ダヴィンチ）				

※医療機関名の後  
記載のないもの

※医療機関名の後の数字は台数  
記載のないものは1台

紹介受診重点医療機関である医療機関については、協議の場における協議の結果の公表に伴い更新又は変更されるものであり、毎年度、協議の場における確認を行うことが必要である。

都道府県における今後の外来機能報告制度の運用等について（R6.3.6 厚生労働省医政局地域医療計画課長通知）

	紹介受診重点医療機関となる意向あり	紹介受診重点医療機関となる意向なし
基準を満たす	<p>特別な事情がない限り、紹介受診重点医療機関となることが想定される</p> <p>⇒「意向」と「協議の場の結論」が合致すれば、県から紹介受診重点医療機関として公表</p>	<p><b>西岡病院</b></p> <p>当該医療機関の意向が第一であることを踏まえつつ、地域の医療提供体制について協議</p> <p>⇒「意向」と「協議の場の結論」が合致すれば、紹介受診重点医療機関にはならない</p>
基準を満たさない	<p>紹介率・逆紹介率等を活用しながら協議</p> <p>⇒「意向」と「協議の場の結論」が合致すれば、基準を満たす蓋然性やスケジュールについて再説明</p>	<p><b>その他の病院・有床診療所</b></p> <p>（協議なし）</p>

基準：初診に占める重点外来の割合が40%以上 かつ 再診に占める重点外来の割合25%以上